



# 「ソーシャルワーク講座・第19期」

2017年2月11日(土)・2017年3月12日(日)

2017年 2月11日(土) 12:20~14:20

テーマ①

## 「相模原障害者殺傷事件」

～いのちの受けとめ方を考える～

芹沢 俊介 (思想家)

2017年 2月11日(土) 14:40~16:40

テーマ②

## 「相模原障害者殺傷事件」

～精神科医の立場から考える～

高岡 健

(岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター 発達精神医学研究所長)

2017年 3月12日(日) 12:20~14:20

テーマ③

## 「不登校・ひきこもり・いじめ…」

～支援の現場で問われていること～

寺出 壽美子

(日本子どもソーシャルワーク協会理事長 ソーシャルワーカー)

1テーマからでも  
受講可能です!

2017年 3月12日(日) 14:40~16:40

テーマ④

## 「不登校・ひきこもり…親の心構え」

石川 憲彦

(林試の森クリニック院長 児童精神科医)

### <お申し込み方法など>

受講料：◆一般：1講座3,500円、全4講座12,000円

◆学生割引(25歳未満)及び職場団体割引(5名以上)：1講座1,800円、全4講座6,000円

振込先：みずほ銀行 成城支店 普通 8045776 特定非営利活動法人日本子どもソーシャルワーク協会

定員：50名

お申し込み：申込用紙をお持ちでない方は、電話かメール(E-mail: swkoza@jcsw.jp)にてご連絡ください。申込用紙は、当協会のHP(<http://www.jcsw.jp/>)からダウンロードすることも可能です。申込用紙を、郵便、FAX、メールにて事務局宛にご送付後、10日以内に受講料のお振込みをお願いいたします。お振込みを事務局にて確認させていただいた時点で、受付完了となります。受講料の返金はいたしませんので、ご了承ください。

スケジュール：1テーマにつき120分(講義90分、休憩10分、質疑応答等20分)

会場：砦総合支所4階 集会室(小田急線「成城学園前」駅下車。徒歩3分)

※諸事情により、講師・内容等が変更になる場合がございます。



# ソーシャルワーク講座・第19期

これから子どもや家族にかかわろうとしている方や、すでに現場で活動されている皆さまのご参加をお待ちしております。

## 日本子どもソーシャルワーク協会のソーシャルワーク事業

- 「ユースワーカー」派遣：不登校やひきこもり、発達障がい等の子ども・若者に寄り添う訪問事業です。
  - 「ケアワーカー」派遣：養育困難家庭やひとり親家庭での育児・家事のサポートをすることにより、親子を支える訪問事業です。
  - 「びあすぽ」事業：事件を起こした少年に就学・就労・生活の自立等のサポートをすることにより、立ち直りを支える事業です。
- ※ 上記のソーシャルワークの現場をご用意しております。現在も、多くの学生さんや主婦、社会人の方に、ご活躍いただいております。
- 講座後、興味のある方は、ぜひワーカー活動にお申込みください（ワーカー活動は有償です）。

## 【講師のご紹介】

### ◇芹沢 俊介（思想家）テーマ①

上智大学経済学部卒。文芸・教育・家族など幅広い分野の評論活動を行っている。現代の家族や学校の切実な課題、子どもたちの問題を独自の視点で捉えている。主な著書に『養育事典』『子どものための親子論』（明石書店）、『家族という意志』（岩波新書）、『愛に疎まれて』『家族という絆が断たれるとき』『「孤独」から考える秋葉原無差別殺傷事件』（高岡健氏との共著）（批評社）、『母という暴力』（春秋社）、『親殺し』（N T T出版）、『引きこもるといふ情熱』『存在論的ひきこもり論』『殺し殺されることの彼方』（高岡健氏との共著）（雲母書房）がある。

### ◇高岡 健（児童精神科医）テーマ②

岐阜大学医学部卒業。現在、岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター児童精神科部長・発達精神医学研究所長。前岐阜大学医学部准教授。日本児童青年精神医学会理事。「精神医療」編集委員。自閉症スペクトラムの臨床研究のほか、不登校・ひきこもりの臨床社会的研究、少年事件の精神鑑定を多く手がけている。主な著書に『「絶歌」論』『やさしい発達障害論』『続・やさしい発達障害論』『精神現象を読み解くための10章』（批評社）、『少年事件 心は裁判でどう扱われるのか』『精神鑑定とは何か』（明石書店）、『不登校・ひきこもりを生きる』（青灯社）がある。

### ◇寺出 壽美子（ソーシャルワーカー）テーマ③

慶應義塾大学文学部卒業。教員、子どもの本屋店長、学習塾代表、児童養護施設施設長などを経て、現在、NPO 法人日本子どもソーシャルワーク協会理事長。前東邦大学薬学部非常勤講師。虐待、いじめ、不登校・ひきこもり、家庭内暴力、少年事件など、多岐にわたる分野で、子どもと親への面接相談や支援に従事している。共著に『家庭訪問型子育て支援』（明石書店）、『ひきこもりという希望』、調査研究報告書に「東京・神奈川・埼玉のひとり親家庭ホームヘルプサービス事業に関する支援状況」「世田谷区における養育困難家庭の実態調査報告書」がある。

### ◇石川憲彦（児童精神科医）テーマ④

東京大学医学部卒。小児科医・精神科医として、障がいを持つ子どもやその親たちと「医療と教育を考える会」を結成し活動。1994年マルタ大学で社会医学的調査を開始し、帰国後は、静岡大学保健管理センターで同所長、教授などを歴任。2004年、目黒区に林試の森クリニックを開業。主な著書に『こども、こころ学』、『みまもることば』（ジャパンマニシスト社）『発達障害という希望』（雲母書房、高岡健氏との共著）『キレル子と叱りすぎる親』（創成社）がある。

【会場のご案内】 砧総合支所 4階集会室

東京都世田谷区成城 6-2-1

（小田急線「成城学園前」駅下車、中央口から徒歩3分）

## <主催・お問い合わせ先>

NPO 法人 日本子どもソーシャルワーク協会 事務局

〒157-0066 東京都世田谷区成城 2-29-12

TEL:03-5727-2133 FAX:03-3416-6994

E-mail: [swkoza@jcsw.jp](mailto:swkoza@jcsw.jp)（講座お問い合わせ・申込先）

その他のお問合せは、E-mail: [kodomo-sw@jcsw.jp](mailto:kodomo-sw@jcsw.jp) まで

HP: <http://www.jcsw.jp/>（申込用紙のダウンロードはこちらから）

